

(別紙5)

補助事業番号 28-1-018  
補助事業名 平成28年度 自転車競技の普及競技力の向上に資する事業 補助事業  
補助事業者名 一般社団法人静岡県自転車競技連盟

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

<FUJI-ZONCOLANヒルクライムin小山町2016>

本大会の開催により、国内自転車競技の普及促進及びイタリアと地域の交流により開催地域の活性化を図る。

<2016ワンデイ・トラックレースウインターシリーズ戦>

本大会の開催により、各年代の競技力向上と競技者の増加を目的とする。観て楽しいスポーツとしてのトラック競技の普及推進を図る。

(2) 実施内容

<FUJI-ZONCOLANヒルクライムin小山町2016> (<http://shizuoka-cf.com/?cat=34>)

開催日：平成28年10月1日（土）

会場：ふじあざみライン入口→富士山須走五合目

ツアーオブジャパン「富士山ステージ」と同じコースでのヒルクライムである。

イタリアからの参加者と日本人参加者・地元との交流を行った。



スタート直後の様子



フィニッシュ後下山の様子

(別紙5)



地元のおもてなし 餅つき



表彰式 (優勝者とイタリア人)

<2016ワンデイ・トラックレースウインターシリーズ戦>

開催日：第1戦 平成28年12月10日 (土)

第2戦 平成29年 1月 7日 (土)

第3戦 平成29年 2月18日 (土)

会 場：伊豆ベロドローム

10月にUCIルールが改訂されたため、新ルールの説明を加えながらレースを行った。

1戦・2戦で新種目を経験し、3戦でオムニアム(複合種目)を実施した。



最年少の参加者



12歳以下の参加者



スクラッチ



テンポ・レース



(別紙5)



エリミネーション



ポイント・レース

## 2 予想される事業実施効果

<FUJI-ZONCOLANヒルクライムin小山町2016>

イタリアとの交流は隔年であるが、継続していくことで自転車文化の確立したイタリアから多くのことを学ぶことができる。競技者同士の自主的な情報交換や交流にとどまらず、地域での自転車に対する関心が高まることが予想される。

<2016ワンデイ・トラックレースウインターシリーズ戦>

伊豆ベロドロームで各カテゴリー別にオムニアムを実施した。ジュニアクラスも初めての挑戦であったが、冬場のトレーニングとしてもかなりの効果が期待される。今後、継続することで大会参加者から日本代表選手が生まれることが期待される。

## 3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

<FUJI-ZONCOLANヒルクライムin小山町2016> <http://shizuoka-cf.com/?p=7134>

大会チラシ(募集チラシ+交通規制チラシ)4,900枚

大会プログラム 400部



(別紙5)

<2016ワンデイ・トラックレースウインターシリーズ戦>

大会プログラム

第1戦 160部

第2戦 145部

第3戦 230部



(2) (1) 以外で当事業において作成したもの  
なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般社団法人静岡県自転車競技連盟 (しずおかけんじてんしゃきょうぎれんめい)

住所： 〒421-3301

静岡県富士市北松野620番地の2

代表者： 理事長 松村 正之(まつむら まさゆき)

担当部署： 事務局

担当者名： 事務局長 松村 友子(まつむら ともこ)

電話番号： 0545-85-3128

F A X： 0545-69-1828

E - m a i l： [scf@tx.thn.ne.jp](mailto:scf@tx.thn.ne.jp)

U R L： <http://shizuoka-cf.com/>